

カテゴリ別レベル特徴【受容】

受容	聞くこと全般			
	条件	話題・場面	対象	行動
C2	・母語話者にかなり速いスピードで話されても	・幅広い分野	・あらゆる種類の話しことば	・難なく理解できる
C1	・耳慣れない話し方の場合には、ときどき細部を確認する必要があるが	・自分の専門外の抽象的で複雑な話題	・長い発話 ・幅広い慣用表現や口頭表現	・理解できる
B2	・標準語で話されれば	・普段出合う話題(個人間、社会、学問、職業) ・身近でない話題	・話	・理解できる
	・標準語で話されれば ・話の方向性が明示的であれば	・自分の専門分野 ・抽象的/具体的話題	・内容的・言語的に複雑な話 ・長い話、複雑な議論	・要点を理解できる
B1	・耳慣れた話し方であれば ・はっきりと話されれば	・毎日や普段の仕事上の話題	・一般的なメッセージ ・簡単な事実関係の情報	・理解できる
	・はっきりと話されれば ・標準語で話されれば	・ごく身近な事柄(仕事、学校、余暇)	・短い話	・要点を理解できる
A2	・はっきりと話されれば ・ゆっくりと話されれば	・具体的で身近な話題	・話	・具体的な必要性を満たすことが可能な程度に理解できる
		・最も直接的な優先的な話題(自分、家族、買い物、地理、仕事)	・話(句や表現)	・(句や表現)を理解できる
A1	・間を長くおいて話されれば ・非常にゆっくりと話されれば ・注意深く話されれば		・話	・理解できる

受容	母語話者同士の会話を聞く			
	条件	話題・場面	対象	行動
C2				
C1		・抽象的で複雑な話題 ・未知の話題 ・母語話者によるグループ討議、ディベート	・グループ討議、ディベート ・第三者間の複雑な対話	・容易に理解できる
B2	・話し方を全く変えない母語話者との議論には加われないかもしれないが ・少し努力すれば	・母語話者同士の会話 ・自分の周りで話されている	・活気に富んだ会話	・理解できる
			・会話	・ほとんどを聞き取ることができる
B1	・標準語で話されれば ・はっきりと話されれば	・母語話者同士の会話 ・自分の周りで話されている	・長い議論	・要点を普通に理解できる
A2	・ゆっくりと話されれば ・はっきりと話されれば	・母語話者同士の会話 ・自分の周りで話されている	・議論	・話題はおおかた理解できる
A1				

受容	講演やプレゼンテーションを聞く			
	条件	話題・場面	対象	行動
C2		・専門的な内容	・かなり程度の高い口語表現や方言的な慣用表現、馴染みの薄い専門用語を利用した専門の講義やプレゼンテーション	・理解できる
C1			・たいていの講義、議論、ディベート	・比較的容易に理解できる
B2		・複雑な内容	・内容的、言語的に複雑な講義、話、報告 ・学問的/専門的なプレゼンテーション	・要点を理解できる
B1	・はっきりと話されれば ・標準語で話されれば	・ごく身近な話題 ・自分の専門範囲	・簡潔で明確な構成のプレゼンテーション ・講義、話	・理解できる
		・ごく身近な話題	・簡単な短い話	・要点を理解できる
A2				
A1				

受容 指示やアナウンスを聞く				
	条件	話題・場面	対象	行動
C2				
C1	・聞き取れないほど音質が悪く歪みがあっても	・駅、スポーツスタジアムのような所で ・取扱説明 ・ごく身近な製品説明やサービス ・複雑な専門的情報	・アナウンス ・複雑な専門的情報	・特定の情報を引き出すことができる ・理解できる
B2	・標準語で話されれば ・普通のスピードで話されれば	・具体的／抽象的な話題	・アナウンス、メッセージ	・理解できる
B1		・毎日使っている機器・設備の取扱説明など ・簡単な専門的情報	・簡単な専門的情報 ・詳細な指示	・理解できる
A2	・はっきりと話されれば	・XからYまでの行き方など	・短い、はっきりとした簡単なメッセージやアナウンス ・(XからYまでの行き方などの)簡単な説明	・要点を聞き取れる ・理解できる
A1	・直接自分に話されれば ・丁寧に話されれば ・ゆっくりと話されれば		・指示 ・短い簡単な説明	・理解できる

受容 音声メディアを聞く				
	条件	話題・場面	対象	行動
C2				
C1	・いくつかの非標準的な表現があっても		・広範囲な音声素材 ・話し手の姿勢、話し手間の関係	・話し手の姿勢や話し手間の関係など、言葉に表れない細かいところまで理解できる
B2	・標準語で話されれば ・標準語で話されれば ・はっきりと話されれば	・普段出合う話題(社会、専門、学問)	・音声素材 ・話し手の視点、姿勢 ・ほとんどの音声素材・話し手の心情、調子	・内容だけでなく、話し手の視点や事柄に対する姿勢を理解できる ・話し手の心情や調子などを理解できる
B1	・はっきりと話されれば ・標準語で話されれば ・比較的ゆっくりと話されれば ・はっきりと話されれば	・個人的に興味がある話題 ・ごく身近な話題	・音声素材 ・比較的簡単な内容の音声素材(ラジオの短いニュース)	・大部分の内容を理解できる ・主要な点を理解できる
A2	・ゆっくりと話されれば ・はっきりと話されれば	・予測可能な日常の事柄 ・必要な情報	・短い音声素材 ・情報	・音声の一節を理解できる ・必要な情報を取り出すことができる
A1				

受容 読むこと全般				
	条件	話題・場面	対象	行動
C2		・幅広い分野	・抽象的で構造的に複雑なテキスト ・口語表現の非常に多いテキスト ・あらゆる形式の書きことば ・長い複雑なテキスト	・実質的に理解し、批判的に解釈できる ・意味や文体の微妙な違い、暗示的な意味を味わいながら理解できる
C1	・難しい箇所を読み返すことができれば	・自分の専門外	・長い複雑なテキスト	・詳細に理解できる
B2			・テキスト	・独力で理解できる
B1		・自分の専門分野や興味のある話題	・簡潔な事実関係のテキスト	・主題を十分に理解できる
A2	・よく使われる日常的な言葉、仕事関連の言葉で書かれていれば ・国際的共通語彙が多く、よく使われる語で書かれていれば	・具体的で身近な話題	・短い簡単なテキスト	・理解できる
A1	・必要であれば読み直したりしながら		・非常に短い簡単なテキスト	・身近な名前、単語や基本的な表現を一つずつ取り上げて、一文一節ずつ理解できる

受容 手紙やメールを読む				
	条件	話題・場面	対象	行動
C2				
C1	・辞書をときどき使えば		・あらゆる種類の手紙やメール	・理解できる
B2		・自分に興味のある分野	・手紙やメール	・すぐに主旨を理解できる
B1		・出来事、感情、希望	・個人の手紙 ・出来事、感情、希望の表現	・理解できる
A2		・身近な話題	・日常の手紙やファックス(照会、注文、確認) ・短い個人の手紙	・理解できる
A1			・はがきの短い簡単なメッセージ	・理解できる

受容	必要な情報を探し出す			
	条件	話題・場面	対象	行動
C2				
C1				
B2	・ざっと目を通しただけ	・幅広い専門的な話題	・長い複雑なテキスト ・情報や記事、レポート	・重要事項を見定めることができる ・内容や重要度をすぐに把握できる
B1	・ざっと目を通しただけ	・特定の課題遂行のために必要な情報	・長いテキスト ・必要な情報	・情報を収集できる
		・日常生活に関する話題	・日常の資料(手紙、パンフレット) ・重要な情報	・情報を探し出して理解できる
A2		・日常の ・予測可能な	・日常の簡単な資料(広告、メニュー、時刻表)、リスト(イエローページ) ・日常の看板や掲示 ・予測可能な情報 ・必要な情報	・情報を見つけることができる ・(看板や掲示の)意味を理解できる
A1		・日常のよくある状況下	・簡単な掲示の中の身近な名前や語、基本的な表現	・理解できる

受容	情報や要点を読み取る			
	条件	話題・場面	対象	行動
C2				
C1		・社会、専門、学問の分野	・ある程度長い、複雑なテキスト	・詳細な点まで理解できる ・意見表明や、含意された意見や立場まで理解できる
B2	・専門用語の意味を確認するために辞書が使える	・自分の専門分野 ・自分の専門外(辞書を使えば)	・非常に専門的な資料、記事 ・情報、意見	・情報や意見を読み取ることができる
		・現代の問題	・記事、レポート	・理解できる
B1			・主張のはっきりした論説的テキスト	・主要な結論を把握できる
		・身近な話題	・簡単な新聞記事	・重要点を取り出すことができる
A2			・簡潔なテキスト(手紙、パンフレット、新聞の短い事件記事) ・特定の情報	・特定の情報を取り出すことができる
A1	・視覚的な補助があれば		・簡単な情報文や簡潔な記述文	・概要を把握できる

受容	説明を読む			
	条件	話題・場面	対象	行動
C2				
C1	・難しい箇所を読み返すことができれば	・自分の専門分野外 ・新しい機械や使用手順	・長い複雑な説明	・細かいところまで理解できる
B2	・難しい箇所を読み返すことができれば	・自分の関係分野	・長い複雑な説明	・細かいところまで理解できる
B1	・はっきりと書かれていれば	・機器などについて	・簡潔な説明	・理解できる
A2	・簡単な言葉で書かれていれば	・安全のための規則など	・簡単な説明	・理解できる
		・日常生活で見る機器(公衆電話など)		
A1		・方向指示など(XからYまで)	・短い、簡潔に書かれた説明	・理解できる

受容	テレビや映画を見る			
	条件	話題・場面	対象	行動
C2				
C1			・相当数の俗語や慣用表現のある映画	・理解できる
B2	・標準的な言葉遣いで話されれば		・たいていの番組	・理解できる
B1	・比較的ゆっくりと話されれば ・はっきりと話されれば ・映像と人の行動が話の大筋を伝えれば ・簡潔な言語で話されれば ・比較的ゆっくりと話されれば ・はっきりと話されれば	・自分の関心のある話題	・多くのテレビ番組	・内容をおおいた理解できる
		・身近な話題	・かなりの映画、テレビ番組	・理解できる
A2	・映像が実況のほとんどを説明してくれれば	・出来事や事故	・テレビニュース	・要点を理解できる
		・事実報道		・内容を大まかに理解できる
A1				

参考資料

Council of Europe (2001) Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment. Cambridge: Cambridge University Press.

Council of Europe (2004) 『外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』初版第1刷、吉島茂、大橋理枝(訳、編)、朝日出版社

Council of Europe (2008) 『外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』初版第2刷、吉島茂、大橋理枝(訳、編)、朝日出版社

カテゴリ別レベル特徴【産出】

産出	話すこと全般			
	条件	話題・場面	対象	行動
C2			・論理的な構成を持った、流れのよいスピーチ ・聞き手の記憶に残るようなスピーチ	・スピーチができる
C1		・複雑な話題	・明瞭かつ詳細な描写やプレゼンテーション	・下位テーマをまとめ、要点を展開しながら、適当な結論に持っていきける
B2		・自分の関心ある分野に関連した、広範囲な話題	・明確かつ体系的に展開した描写やプレゼンテーション	・要点を見失わずに、関連する詳細情報を付け加えて、内容を補足できる ・明確かつ詳細に話すことができる ・事項を補足しながら、関連事例を挙げて、主張を強化、展開できる
B1		・自分の関心のあるさまざまな話題	・ある程度の長さの簡単な描写やプレゼンテーション	・事柄を直線的に提示し、比較的流暢に話すことができる
A2		・人物の生活、職場環境、日課、好き嫌い	・単純な描写やプレゼンテーション ・簡単な字句や文	・簡単な字句や文を並べて話すことができる
A1		・人物や場所	・単純な字句	・単純な字句を並べて話すことができる

産出	経験や物語を語る			
	条件	話題・場面	対象	行動
C2			・記憶に残るような経験談	・明瞭で滞りなく、詳しく述べるができる
C1		・複雑な話題	・経験談、語り ・洗練された描写	・明瞭かつ詳細に述べるができる ・下位テーマをまとめ、要点を展開して、適切な結論で終わらせることができる
B2		・自分の関心のある分野に関連した広範囲な話題	・経験談、語り	・明確で詳しく述べるができる
B1		・自分の関心事で、馴染みのあるさまざまな話題 ・現実や想像上の出来事、経験 ・予測不能の出来事(事故など) ・本や映画の筋 ・夢や希望、野心	・経験談、語り	・事柄を直線的に並べて、比較的流暢に、簡単な語りができる ・自分の感情や反応を描写しながら、経験を詳細に述べるができる ・出来事を順序だてて詳細に述べるができる ・自分の考えを述べるができる ・夢、希望、野心を述べるができる
A2		・自分の周りの環境(人、場所、仕事) ・計画、準備、習慣、日課、過去の活動や個人の経験 ・事物や所有物 ・好き嫌い	・経験談、語り	・事柄を列挙して簡単に述べるができる ・要点を短く述べるができる ・事物を比較できる
		・家族、住居環境、学歴、現在の仕事 ・人、場所、所有物		・簡単な言葉で述べるができる
A1		・自分について(何をしているか、住んでいる場所)		・述べるができる

産出	論述する			
	条件	話題・場面	対象	行動
C2				
C1				
B2			・議論	・適切に要点を強調し、重要な関連のある補足事項を詳しく取り上げて、整然と論拠を展開できる
			・はっきりとした議論	・補助的観点や事例を詳細に補足し、自分の見解を展開できる ・理路整然と論拠を並べ挙げるができる ・利点と不利な点を挙げて、問題の視点を説明できる
B1			・明確な議論	・明確な議論が構築でき、他人がついていくのに苦労しない
		・意見、計画、行動	・短い理由、説明	・短い理由や説明ができる
A2				
A1				

産出 公共アナウンスをする				
	条件	話題・場面	対象	行動
C2				
C1			・アナウンス	・細かいニュアンスを正確に伝えるために、強弱、イントネーションをつけて、楽々と、かつ流暢にアナウンスができる
B2		・一般的な話題のほとんど	・アナウンス	・聞き手に何のストレスも不快さも与えることなく、明快に、流暢に、ごく自然にアナウンスができる
B1	・練習しておけば	・自分の分野に関連する話題	・短いアナウンス	・はっきりとわかりやすくアナウンスができる
A2	・聞き手が集中して聞いてくれれば ・練習しておけば	・予測可能で身近な話題	・短いアナウンス	・アナウンスができる
A1				

産出 講演やプレゼンテーションをする				
	条件	話題・場面	対象	行動
C2	・話題について知識のない聴衆に対しても		・複雑な内容の口頭発表	・自信を持ってはっきりと発表できる ・聴衆の必要性に合わせて柔軟に話を変えていくことができる ・難しい／敵意のある質問に対処できる
C1		・複雑な話題	・明瞭できちんとした構成のプレゼンテーション	・補助事項、理由、関連事例を詳しく説明し、論点を展開し、立証できる ・聴衆からの不意の発言にほとんど苦勞せず自然に反応できる
B2			・はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーション	・重要な点、関連する詳細事項を補足的に強調することができる ・聴衆が喚起した興味ある事柄に対応できる ・非常に流暢に楽に表現できる
	・事前に用意しておけば		・はっきりとしたプレゼンテーション	・賛成や反対の理由を挙げて、利点と不利な点を示すことができる ・質問に、ある程度流暢に、自然に対応できる
B1	・事前に用意しておけば ・質問のスピードが速い場合は、もう一度繰り返してもらえれば	・自分の専門でよく知っている話題	・はっきりとした、簡単なプレゼンテーション	・聴衆が難なく話についていける程度に、プレゼンテーションができる ・要点をそこそこ正確に述べる ・質問に対応できる
A2	・リハーサルしておけば ・リハーサルしておけば ・質問を繰り返し言ってもらい、回答するのに何らかの助け船を出してくれる人がいれば	・自分の毎日の生活に直接関連のある話題	・短いプレゼンテーション ・短い基本的なプレゼンテーション	・意見や行動に対して、理由を挙げて、短く述べる ・限られた数の簡単な質問に対処できる ・プレゼンテーションができる ・簡単な質問に答えることができる
A1	・準備して練習しておけば		・非常に短い、準備して練習した表現(話し手の紹介や乾杯の発声)	・読み上げることができる

産出 書くこと全般				
	条件	話題・場面	対象	行動
C2			・複雑なテキスト	・明瞭に調子よく書くことができる ・読者に重点がわかるように書くことができる ・適切で印象的な文体と理論的な構成で書くことができる
C1		・複雑な話題	・明瞭できちんとした構造を持ったテキスト	・重要な点を強調して、補助事項、理由、関連する詳細な事例を加えて論点を展開し、それを維持できる ・適切な結論で終わることができる
B2		・自分の関心がある専門分野の多様な話題	・明瞭で詳細なテキスト	・いろいろな情報や議論をまとめて、評価した上で、書くことができる
B1		・自分の関心がある身近な話題	・結束性のある簡単なテキスト	・一連の短い別々の要素を一つの流れに結びつけて書くことができる
A2			・簡単な表現や文	・「そして」「しかし」などの簡単な接続詞でつなげて書くことができる
A1			・簡単な表現や文	・簡単な表現や文を単独に書くことができる

産出	作文を書く			
	条件	話題・場面	対象	行動
C2				<ul style="list-style-type: none"> ・明瞭ですらすらと流れるように書くことができる ・そのジャンルに適切な文体で書くことができる ・読み手を完全に引き込むことができる
C1			<ul style="list-style-type: none"> ・明瞭かつ詳細な、きちんとした構成と展開を持つ記述文や創造文 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の、しかも自然な文体で、自信を持って、書くことができる ・読者として想定した相手にふさわしいテキストを書くことができる
B2		<ul style="list-style-type: none"> ・実際／想像上の出来事や経験 	<ul style="list-style-type: none"> ・明瞭、詳細な記述文 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の見解を相互に関連づけ、当該ジャンルの書記習慣に従って、明瞭かつ詳細に書くことができる
		<ul style="list-style-type: none"> ・自分が関心を持つさまざまな話題 	<ul style="list-style-type: none"> ・明瞭、詳細な記述文 ・映画、本、演劇の評 	<ul style="list-style-type: none"> ・明瞭、詳細に書くことができる
B1		<ul style="list-style-type: none"> ・自分が関心を持つ身近な話題 ・現実／想像上の出来事、経験(最近行った旅行など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・複雑でないが詳しい記述文 ・単純につながりあわせたテキスト ・物語 	<ul style="list-style-type: none"> ・複雑でないが、詳しく書くことができる ・感情や反応を記述しながら書くことができる
A2		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の周りの日々のいろいろな事柄(人物、場所、仕事) ・出来事、過去の活動、個人的な経験 	<ul style="list-style-type: none"> ・つながりのある短い文 	<ul style="list-style-type: none"> ・書くことができる
		<ul style="list-style-type: none"> ・家族、生活環境、学歴、仕事など 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な句や文を連ねたテキスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な句や文を連ねて書くことができる
A1		<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身や想像上の人物について(どこに住んでいるか、何をするか) 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な句や文 	<ul style="list-style-type: none"> ・書くことができる

産出	レポートや記事を書く			
	条件	話題・場面	対象	行動
C2			<ul style="list-style-type: none"> ・複雑なレポート、記事、エッセイ ・事情説明、提案 ・文学作品の批評文 	<ul style="list-style-type: none"> ・明瞭で流れるように書くことができる ・読者に重点がわかるように、適切で効果的に論理を構成することができる
C1		<ul style="list-style-type: none"> ・複雑な話題 	<ul style="list-style-type: none"> ・明瞭な、きちんとした構造を持ったテキスト ・ある程度の長さの文 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助的事項、理由、事例を詳細に加えて、特定の視点からの論を展開できる
B2			<ul style="list-style-type: none"> ・エッセイ、レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・論拠、論点を整然と展開して書くことができる ・重要な点や関連事項の詳細を適切に強調できる ・いろいろな考えや問題の解決法を評価できる ・根拠を示して賛成や反対の理由を挙げ、さまざまな選択肢の利点と不利な点を説明できる ・集めた情報や議論をまとめることができる
		<ul style="list-style-type: none"> ・関心をもつ話題 ・自分の専門範囲の日常的／非日常的な事柄 	<ul style="list-style-type: none"> ・短い簡単なエッセイ 	<ul style="list-style-type: none"> ・集めた事実情報をもとに、総括し、報告できる ・ある程度の自信を持って自分の意見を提示できる
		<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な事柄 	<ul style="list-style-type: none"> ・きわめて短い報告文 	<ul style="list-style-type: none"> ・事実を述べ、行動の理由を説明できる ・標準的な常用形式に沿って書くことができる
A2				
A1				

参考資料

Council of Europe (2001) Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment. Cambridge: Cambridge University Press.

Council of Europe (2004) 『外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』初版第1刷、吉島茂、大橋理枝(訳、編)、朝日出版社

Council of Europe (2008) 『外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』初版第2刷、吉島茂、大橋理枝(訳、編)、朝日出版社

カテゴリ別レベル特徴【やりとり】

やりとり 口頭でのやりとり全般				
	条件	話題・場面	対象	行動
C2		・幅広い分野の話題		・慣用的表現や口頭表現を使いこなせる ・的確に修飾を加え、細かいニュアンスまで伝えることができる
C1		・抽象的かつ複雑、身近でない話題		・らくらくと流暢に、自然に言いたいことを表現できる
B2		・幅広い話題(一般、学術、職業、余暇)	・自分の意見	・流暢に正確に効果的に言葉を使える ・自然なコミュニケーションができる
		・個人的に重要な出来事や経験		・お互いにストレスを感じさせることなく流暢に自然に対話できる ・重要な点を強調して関連説明をし、根拠を示して自分の見方をはっきりと説明、主張・維持できる
B1	・準備なしでも	・自分の関心や専門分野に関する話題 ・身近な日常的／非日常的な問題 ・映画、音楽などの抽象的な文化的話題	・自分の考え ・情報	・自信を持って話し合いできる ・情報を交換、チェックし、確認できる ・日常的でない状況に対処、問題の在処を説明できる ・自分の考えを表現できる
		・身近な話題 ・個人的関心のある事柄 ・日常生活に関連する話題(家族、趣味、仕事、旅行) ・旅行中に遭遇する可能性のある状況	・個人的な意見 ・情報	・会話に参加できる ・個人的な意見を表明できる ・情報交換できる ・旅行中に遭遇する可能性のある状況に対処できる
A2	・必要がある場合に相手が助けてくれれば	・予め決まっているような状況 ・予測可能な日常の状況 ・身近な話題	・短い会話 ・考え、情報	・あまり苦勞せずに日常での簡単なやりとりができる ・考えや情報を交換、質問に答えられる
		・日常の課題 ・身近な日々の事柄(仕事、自由時間)	・直接的で簡単な情報交換	・非常に短い社会的なやりとりに対応できる
A1	・ゆっくりと話されれば ・繰り返しを交えながら話されれば	・すぐに回答が必要な事柄 ・ごく身近な話題	・簡単な質疑応答	・簡単な方法でやりとりができる ・簡単な質疑応答ができる

やりとり 母語話者とやりとりをする				
	条件	話題・場面	対象	行動
C2	・標準的でない話し方や言い方に慣れれば	・自分の専門分野を超えた専門的話題 ・抽象的な複雑な話題	・母語話者が言ったこと	・理解できる
C1	・馴染みのない話し方の場合にとどき詳細を確認する必要はあるが	・自分の専門分野外の話題	・専門家による抽象的な複雑な話	・詳しく理解できる
B2	・騒音のある環境でも ・標準的な言葉で話されれば		・母語話者が言ったこと	・詳細に理解できる
B1	・時には繰り返しを求めることもあるが ・直接自分に話が向けられれば ・はっきりと話されれば	・日常会話	・母語話者が言ったこと	・理解できる
A2	・とどき繰り返しや言い換えを求めることが許されれば ・話が自分に向けられれば ・はっきりと標準的な言葉で話されれば	・日常会話	・母語話者による簡単なやりとり	・たいてい理解できる
	・はっきりとゆっくりと話されれば ・自分に直接向けられた発話なら ・相手が面倒がらなければ	・簡単な日常会話	・母語話者が言ったこと	・理解できる
A1	・こちらの事情を理解してくれるような話し相手から、はっきりとゆっくりと注意深く話されれば ・繰り返しを交えながら話されれば ・直接自分に話が向けられれば	・直接必要なこと ・ごく身近な話題	・日常の表現 ・ゆっくり表現された質問や説明 ・短い簡潔な指示	・理解できる

やりとり 社会的なやりとりをする				
	条件	話題・場面	対象	行動
C2		・社会や個人生活全般	・会話	・言語上の制限もなく、ゆとりを持って、適切に、自由に会話できる
C1			・会話 ・感情表現、間接的な示唆、冗談	・感情表現、間接的な示唆、冗談などを交えて、柔軟に効果的に言葉を使用できる
B2	・騒音の多い環境でも	・たいていの話題	・長い会話 ・気持ち	・会話に参加できる ・相手を不用意にいらつかせたりすることなく互いの関係を維持できる ・気持ちを伝え、出来事や経験の持つ個人的重要性を強調できる
B1	・時には繰り返しを求めることもあるが ・時には言いたいことが言えないこともあるが ・話が自分に向けられていれば ・はっきりと話されれば ・準備なしに	・身近な話題 ・日常会話	・会話 ・感情	・会話に参加し、続けることができる ・驚き、悲しみなどの感情を表現し、相手の感情に反応できる
A2	・ときどき繰り返しや言い換えを求めることが許されれば ・話が自分に向けられれば ・はっきりと標準語で話されれば	・挨拶、別れ、紹介、感謝 ・身近な事柄 ・興味のある話題 ・日常的なこと	・短い会話 ・感情	・社会的関係を確立できる ・会話に参加できる ・自分の感情や感謝を簡単な言葉で表現できる
	・相手が面倒がらなければ	・挨拶、招待、提案、謝罪 ・好き嫌い	・非常に短い社会的なやりとり ・簡単な日常の丁寧な形式	・挨拶、招待、提案、謝罪ができ、それらに反応できる ・好き嫌いを言える
A1	・こちらの事情を理解してくれるような話し相手から ・はっきりとゆっくりと話されれば ・繰り返しを交えながら話されれば ・直接自分に話が向けられれば	・ごく身近な話題 ・自分自身や他人 ・紹介、基本的な挨拶	・日常的な表現	・理解できる ・基本的な表現を使える ・人が元気かどうかを聞き、近況を聞いて、反応できる

やりとり インフォーマルな場面でやりとりをする				
	条件	話題・場面	対象	行動
C2				
C1		・抽象的かつ複雑で身近でない話題 ・グループ討議	・第三者間の複雑な対話	・対話を容易に理解し、そこに参加できる
B2			・母語話者同士の活発な議論 ・自分の考え、意見	・議論についていくことができる ・正確に自分の考えや意見を表現できる ・説得力をもって議論の複雑な筋道を理解し、それに反応できる
	・話し方を普段と全く変えない複数の母語話者との議論に加わるのは難しいかもしれないが、多少の努力をすれば	・身近な状況	・インフォーマルな議論	・大部分を理解し、議論に積極的に参加できる ・視点をはっきり示し、代替案を評価できる ・仮説を立て、他の仮説に対応できる ・関連説明、論拠、コメントを述べ、自分の意見を説明・維持できる
B1	・非常に慣用句的な語法を避け、はっきりと話されれば	・一般的な話題 ・音楽や映画などの抽象的、文化的話題 ・何をしたいか、どこに行きたいかなど	・インフォーマルな議論 ・自分の考え	・ほとんどを理解できる ・自分の考えを表現できる ・問題の在処を説明できる ・他人の見方に対して簡単なコメントができる ・代案を比較対照できる
	・標準的な言葉遣いで、はっきりと話されれば	・興味ある話題 ・何をしたいか、どこに行きたいかなど	・友人とのインフォーマルな議論 ・自分の意見、賛成／反対	・要点をおおいた理解できる ・自分の見方や意見を示したり、尋ねたりできる
A2	・はっきりとゆっくりと話されれば	・自分の周りで話されている ・晩や週末にすること	・インフォーマルな議論 ・提案 ・賛成／反対の表明	・話題をおおいた理解できる ・(晩や週末にすることを)話し合うことができる ・提案したり、出された提案に反応したりできる ・他人の意見に賛成や反対できる
	・はっきりとゆっくりと話されれば ・話が自分に直接向けられれば	・日常的で実際的な問題 ・何をしたいか、どこへ行きたいか	・インフォーマルな議論 ・約束	・簡単に話し合うことができる ・会う約束ができる
A1				

やりとり フォーマルな場面で議論する				
	条件	話題・場面	対象	行動
C2	・母語話者と比べても引けをとらず	・複雑な話題	・議論	・明確で説得力のある議論ができる ・自己主張ができる
C1		・抽象的かつ複雑で身近でない話題	・ディベート	・ディベートに容易についていくことができる ・説得力をもって公式に主張を展開できる ・質問やコメントに応じ、複雑な筋立ての対抗意見にも流暢に自然に適切に対応できる
B2			・活発な議論 ・複雑な筋立ての議論 ・自分の考え、意見	・議論についていくことができる ・支持側と反対側の論理を的確に把握できる ・自分の考えや意見を正確に表現できる ・説得力を持って見解を提示し、対応できる
		・自分の専門分野に関連した話題	・日常／非日常的な公式の議論 ・自分の意見	・議論に積極的に参加できる ・代案を評価し、仮説を立て、他人が立てた仮説に対応できる ・話し手が強調した点を理解できる ・自分の意見を説明、維持できる
B1	・非常に慣用句的な言葉遣いを避け、はっきりと話されれば ・標準的な言葉遣いで話されれば	・自分の専門分野に関連した話題	・事実に関する情報 ・定例の公式の議論 ・ディベート	・話の概略を理解できる ・視点をはっきりと示すことができる
A2	・はっきりとゆっくりと話されれば ・ポイントを繰り返してもらえれば	・自分の専門分野に関連した話題	・公式の議論 ・自分の意見	・話題の動きや変化ををおおかた理解できる ・関連情報をやりとりし、自分の意見を示せる
	・必要な場合に鍵となるポイントを繰り返してもらえれば	・公的な会合	・直接自分に向けられた質問 ・自分の考え	・質問に対して自分の考えを言える
A1				

やりとり 共同作業中にやりとりをする				
	条件	話題・場面	対象	行動
C2				
C1				
B2			・詳細な使用説明 ・問題、原因、結果	・説明を確実に理解できる ・他人を誘ったり、意見を述べるように促し、作業を進めることに貢献できる ・原因や結果を推測し、異なるアプローチの利点と不利な点を比較しながら、問題の概略をはっきりと述べられる
B1	・相手の話し方が速かったり長い場合は繰り返しや説明を求めることもあるが		・言われたこと	・言われたことを理解できる ・問題の在処を説明し、次に何をすべきか検討、代案を比較対照できる ・他人の見方に対して簡単なコメントができる
			・言われたこと ・意見、理由	・言われたことをたいてい理解できる ・簡単に理由を挙げて説明し、理解させることができる ・意見を言うよう他人を促すことができる
A2	・理解できない場合に繰り返しを求めれば	・簡単な日常の課題	・提案、指示	・あまり苦勞せずにうまく対処できる ・提案したり、提案に応じたりできる ・指示を求めたり、出したりできる ・次にすることを検討できる
	・相手が面倒がらなければ		・簡単な情報	・簡単な表現を使ってやりとりができる ・物を要求したり与えたりできる ・簡単な情報を得ることができる ・次にすることを話し合うことができる
A1	・注意深く、ゆっくりと話されれば		・短い簡潔な指示、質問、説明	・理解できる ・人に物事を要求したり与えたりできる

やりとり 店や公共機関でやりとりをする				
	条件	話題・場面	対象	行動
C2				
C1				
B2		・生活上の様々なトラブル(事故、損害など)	・交渉 ・説得	・解決のためにうまく交渉の話合いができる ・説得力のある言葉遣いで譲歩の限界をはっきりと表明できる
			・問題 ・解決策	・問題を説明し、業者や客のほう譲歩の義務があることをはっきりさせる
B1		・旅行中に起こりそうなこと ・あまり日常では起きない状況(店で返品するなど)	・苦情	・(旅行中に起こる)たいいていのことに対処できる ・苦情を言うことができる
A2		・毎日の生活での普通の状況(旅行、食事、買い物) ・簡単で特別専門的でない普通の内容	・必要な情報	・状況に対処できる ・情報を入手できる
		・公共交通機関 ・店、郵便局、銀行	・簡単な情報(量や数、値段など)	・欲しい物を言い、値段を聞いて簡単な買い物ができる ・食事を注文できる ・行き方を聞いたり教えたりできる ・切符を買うことができる
A1			・数、量、費用、時間	・人に物事を要求したり与えたりできる ・数、量、費用、時間が扱える

やりとり 情報交換する				
	条件	話題・場面	対象	行動
C2				
C1				
B2		・自分の職業上の役割に関するあらゆる事柄	・複雑な情報や助言	・理解できる ・情報交換できる
			・情報 ・明確な細かい指示	・信頼を得られる程度に情報を詳しく伝えるられる ・指示を与えられる ・多くの情報源からの情報と論拠を統合して報告できる
B1		・自分の専門分野の身近な日常／非日常的的事柄	・事実情報 ・細かい指示、説明 ・短い物語、記事、インタビュー ・細部に関する質問	・事実情報を交換、チェック、確認できる ・指示をしながらやり方を説明できる ・記事などをまとめ、自分の意見を示し、細部に関する質問に答えられる
			・事実に基づく簡単な情報 ・詳細な説明	・情報を伝えられる ・説明を求め、理解できる
A2		・習慣、日常の仕事 ・娯楽、過去の活動 ・毎日の実際的な事柄	・簡単な対話 ・事実に基づく簡単な情報 ・簡単な説明や指示 ・要求 ・質問	・あまり苦労しないで理解できる ・情報を見つけ出し、人に伝えられる ・説明や指示を与えたり、理解したりできる ・要求に対処できる ・質問をし、答えられる
		・日常の簡単な課題 ・身近な日常的作業 ・仕事や自由時間にすること ・個人的なこと	・情報 ・質問	・情報を求めたり提供したりできる ・質問したり答えたりできる ・地図などを参照しながら目的地を聞いたたり答えたりできる
A1	・注意深く、ゆっくりと話されれば ・直接自分に話が向けられれば	・直接必要なこと ・ごく身近な話題 ・自分自身や他人に関して、住まい、知人、所有物など	・短い簡潔な指示、質問、説明	・理解できる ・質問できる ・質問を受けたり答えたりできる ・自分から言ったり相手の言ったことに反応できる

やりとり インタビューする／受ける				
	条件	話題・場面	対象	行動
C2	・母語話者と比べても引けをとらず		・インタビュー(する／受ける)	・きわめて上手に対話の一方を努める ・堂々と、非常に流暢に話や対話を組み立てられる
C1	・助け船を出さなくても		・インタビュー(する／受ける)	・インタビューに完全に参加できる ・なめらかに議論を発展できる
B2			・インタビュー(する)	・なめらかに効果的にインタビューできる ・興味深い返答を取り上げ、用意した質問をその場に応じて適切に変えられる ・さらに興味深い答えを引き出せる
	・相手に助けってもらったり水を向けてもらわなくても		・インタビュー(受ける)	・イニシアティブをとってアイデアを伸展できる
B1	・相手が答えを早口で言ったり長かったりすると、時には繰り返しを求めることもあるが ・情報をチェックし確認しながら		・インタビュー(する／受ける)	<受ける> ・正確さは限られるが、必要とされる具体的な情報を提供できる <する> ・インタビューをやりとげる
	・相手に頼るところが大きい ・あらかじめ用意した質問用紙を使って			<受ける> ・いくらかイニシアティブをとれる <する> ・相手の答えを受けてそれに続く質問をいくつか出せる
A2	・ときどき説明を求めたり、自分が言いたいことを表現する手助けが得られれば	・身近な話題	・インタビュー(する／受ける) ・考えや情報	・自分の言いたいことを相手に理解させられる ・考えや情報を伝えられる
			・インタビュー(受ける) ・簡単な意見表明	・簡単な質問に答えられる ・簡単な意見表明ができる
A1	・慣用的な言葉遣いがなければ ・ごくゆっくりとはっきりと話されれば	・個人的なこと	・インタビュー(受ける) ・簡単で直接的な質問	・質問に答えられる

やりとり 文書でのやりとり全般				
	条件	話題・場面	対象	行動
C2				
C1				・言いたいことをはっきりと正確に表現できる ・相手に対して、柔軟に効果的に対応できる
B2			・ニュース	・効果的に書き表し、他の人の書いたものにも関連づけられる
B1		・具体的／抽象的な話題 ・直接的に関連のある	・個人的な手紙、覚書 ・情報、意見 ・簡単な情報	・情報や意見を伝えられる ・情報をチェックし、問題について適度の詳しさを尋ねたり説明できる ・自分が重要だと思う点を相手に理解させられる
A2		・直接必要な事柄	・短い簡単な覚書	・決まり文句を用いて書くことができる
A1		・個人的な具体的情報	・個人的な具体的情報	・情報を求めたり伝えたりできる

やりとり 手紙やメールのやりとりをする				
	条件	話題・場面	対象	行動
C2				
C1			・個人的な手紙やメール ・感情表現、間接的な示唆、冗談	・伝えたいことをはっきりと正確に表現できる ・感情表現、間接的な示唆、冗談などを交えて、柔軟に効果的に書ける
B2			・個人的な手紙やメール ・感情	・感情の度合いを伝えられる ・重要性を強調し、相手の近況や考え方などに言及できる
B1		・最近の出来事 ・抽象的・文化的話題(音楽や映画)	・個人的な手紙 ・自分の意見	・書くことができる
		・経験、感情、出来事	・個人的な手紙 ・経験、感情、出来事	・多少詳細に書ける
A2		・感謝、謝罪	・ごく簡単な個人的な手紙 ・感謝、謝罪	・書くことができる
A1			・短い簡単なはがき	・書くことができる

やりとり	申請書類や伝言を書く			
	条件	話題・場面	対象	行動
C2				
C1				
B2				
B1			・問い合わせ、問題を説明したメッセージ	・書くことができる
			・日常生活の中で重要な役割を果たす人(友人、教師)に直接伝える情報 ・簡単なメモ	・重要な点がわかるように書くことができる
A2		・直接必要なこと	・短い簡単なメモやメッセージ	・書くことができる
A1		・ホテルの予約用紙などに記入する事柄	・名前、国籍、住所など	・書くことができる

参考資料

Council of Europe (2001) Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment. Cambridge: Cambridge University Press.

Council of Europe (2004) 『外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』初版第1刷、吉島茂、大橋理枝(訳、編)、朝日出版社

Council of Europe (2008) 『外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』初版第2刷、吉島茂、大橋理枝(訳、編)、朝日出版社